

## 赤湯温泉と烏帽子山千本桜

赤湯温泉旅館協同組合 石岡 要藏

烏帽子山千本桜保存会の発足30周年誠におめでとうございます。また、日頃から私ども旅館組合が皆様にたいへんお世話になっておりますこと心より御礼申し上げます。

邑鑑によりますと、赤湯村は文禄3年（1594）の頃は戸数43戸の小さい村で、正保年間（1645～）には98戸となり、馬市などが開かれ、繁昌の温泉集落になったと記されています。また、山の麓に密集した温泉集落であったため、乾燥した「辰巳風」が吹き下ろし、木つ端と赤湯はたてると燃える、といわれたように何度も大火に会っています。江戸時代の旅行ガイドブックであった安政2年（1855）発刊の東講商人鑑には温泉町の北に東正寺と赤湯稻荷社が描かれております。

明治に入って、寂れた温泉街に昔日の繁昌を取り返すべく、明治11年に烏帽子山に花木を数百本植えましたが、12年、13年と2年続けて大火に会い、すべてが焼失、しかし明治16年より3年かかりで再開発し、明治22年に八幡宮を遷座し、現在の姿の基礎が出来たとお聞きしております。

私が小学生の頃、毎年、桜まつりに連れて行ってもらっていましたが、今の龍神水の井戸の脇で、義足の傷痍軍人が軍歌を歌って物乞いをしていました。まだ日本の敗戦が色濃く残っている時代でしたが、観光売店や屋台がたくさんあり、大勢の人で賑わっていました。旅館も、朝に当日の予約客が全く無くとも夕べにはいっぱいになっていた、と母が話しておりました。

平成2年に日本の桜名所百選に選ばれ、平成6年に置賜さくら回廊の観光ルートが整備されると、随分と観光客が増え、旅館でもさくら料理や夜桜弁当などの企画が実施されました。昨年は15万人を超える花見客が訪れ、私どももその恩恵をたくさんいただいております。

きれいな桜を咲かせるには、施肥、剪定、土壤改良、害鳥駆除などたいへんなご苦労があることだと思いますが、その地道な作業を千本桜保存会の皆様に活動していただいたお陰で、私たち旅館が、誘客を行える訳で、本当に皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

一時は145名（平成19年4月）を超す会員の方がいらっしゃいましたが、高齢化などで、会員数が減少して

いるとお聞きしています。桜による恩恵をいただいている私どもにとりましても、先祖から数多の人々によって受け継がれてきた烏帽子山の千本桜を、次世代にしっかりと継承できるようにご協力してまいりたいと思っております。

### ◆活動の記録（抜粋）

- |     |        |   |
|-----|--------|---|
| 4月  | 15日    | 春のクリーン作戦  |
|     | 19日    | 桜の苗木プレゼント準備   |
|     | 20日    | 桜の苗木プレゼント（30本）  |
|     | 24日    | 研修旅行（三春滝桜、16名）  |
|     | 26日    | 定期総会・観桜会  |
| 5月  | 6日     | 定期観察会（枯枝等処理）  |
| 6月  | 3日     | 定期観察会（ひこばえ、枯枝等処理）   |
|     | 12～13日 | 置賜さくら会研修旅行<br>(弘前公園選定作業現場)  |
|     | 25日    | 樹勢回復協働作業<br>(市建設課、本会他関係団体)  |
| 7月  | 1日     | 定期観察会（徒長枝処理等）   |
| 8月  | 5日     | 定期観察会（徒長枝・枯死枝処理等）   |
| 9月  | 2日     | 定期観察会（病害虫等発生状況観察）   |
| 10月 | 2日     | 定期観察会（徒長枝・枯死枝処理等）   |
| 11月 | 4日     | 定期観察会（生育状況等観察）  |
|     | 13日    | 秋の施肥作業  |
| 12月 | 1日     | 桜守育成事業開催<br>(35名・市中央公民館)<br>「よみがえった三春の滝桜」<br>樹木医 鈴木俊行氏（福島県）<br>「被災地で命を放つ桜を後世に」<br>写真家 大沼英樹氏 |
|     | 2日     | 定期観察会（生育状況等観察）  |
| 25年 |        |   |
| 2月  | 14日    | 消毒作業（市建設課に協力）   |
| 3月  | 4日～    | 剪定作業等（市建設課に協力）  |

\*役員会等は隨時開催

# 躍進の10年のあゆみ

平成25年度

## ◆国際ソロプチミスト表彰

本保存会が、ソロプチミスト南陽の推薦により公益財団法人ソロプチミスト日本財団から、平成25年度社会ボランティア賞を受賞しました。その贈呈式が、11月12日に新潟市朱鷺メッセで盛大に開催され、柴田会長と事務局長で出席しました。

日本財団では、毎年、支援・奨励事業として女性研究者賞とドリーム賞を、顕彰・援助事業として社会ボランティア賞・社会貢献賞などを贈呈しており、今年は全国から420の応募があり、そのうち100件を選んだとのことでした。特にドリーム賞に宇宙飛行士だった向井千秋氏が、社会貢献賞にマラソンの有森裕子氏他4名が受賞されていたことです。

年間を通じて鳥帽子山公園の桜の保護育成活動を長く続けてきたことが、「地域密着型のボランティア活動を継続的に行っている」という社会ボランティア賞の趣旨に合致していることで受賞となりました。

今後は、この受賞を励みに、行政と連携を密にして鳥帽子山の桜の樹勢改善と本会の発展を推進してまいりたいと存じます。(会報第20号)



## ◆赤湯小学校児童も一緒に桜を育てます

10月30日、赤湯小学校4年生117名の皆さんが、初めて本会員とともに鳥帽子山千本桜の施肥作業を行いました。体験した今年の4年生の弟や妹たちにも、皆の子ども達にも、「鳥帽子山の桜に肥料をやった愛おしさ」をつないで欲しいと思います。

### 【感想文】

(会報第20号から抜粋)

### 「さくらの声」

赤湯小学校 島貫 誠

ぼくは、さくらの木にひ料をあげて、なんだかさくらの木が喜んでいるような気がしました。それは、ひ料をやつたら「ありがとう。」と聞こえたような気がしたからです。ぼくはうれしくなって「きれいなさくらがさくといいな」と思いながらどんどんひ料をやりました。そしたらすぐにひ料がなくなって、ちょっととこまりました。

ぼくは、さくらにひ料をあげて、春がとても楽しみになりました。来年、さくらを見に行ったら、またさくらの声が聞こえるといいです。この行事が伝とうになってほしいと思いました。

## ◆研修旅行

### 「八重の桜」ゆかりの桜を訪ねて

その桜の見事さに圧倒された。激動の時代を生き抜いたかのように古木に咲いている桜は、幕末から明治の激動の時代を生き抜いた新島八重を彷彿とさせ、見る人を感動させていた。桜は、日本人の心を揺さぶる何かを持っていると感じた。(会報20号から抜粋)



## 未来へ

加藤 正人

沖縄出身の歌手キロロの「未来へ」という歌がある。20年以上も前にリリースされたこの歌は中学校や高等学校の卒業ソングとして歌われていた。原曲はキロロの一人玉城千春が中学3年の時に母親に宛てて書いた曲であり、結婚式で両親に贈る歌としても使われているという。やわらかなメロディと、歌詞に込められた思いに触れ、もうひと頑張りしてみようと元気をもらえる私の好きな歌の一つである。この「未来へ」をニュージーランド出身の歌手ヘイリーが、英語バージョンのカバー曲として澄んだ歌声を響かせ聴く人を魅了する。

私は烏帽子山公園に咲き誇る桜とヘイリーの澄んだ美しい声で歌う「未来へ」を重ね合わせた映像作品を創った。見る人を烏帽子山公園の桜に誘う作品で、烏帽子山公園の桜の魅力を余すことなくスクリーンに映し出していると自画自賛している。

十数年前、赤湯公民館長を拝命した時に、千本桜保存会の柴田前会長から保存会の事務局長の話があり、わけもわからずお引き受けした。かつて烏帽子山公園の桜をただ漫然と「きれいだな」と眺めていたが、その時から烏帽子山公園の桜は、私のカメラの被写体となつた。以来十数年、1年を通して烏帽子山公園にのぼり、写真を撮り続けた。土手に咲く早春の小さな花々に心を躍らせ、桜の蕾のふくらみ具合を気にし、今年の桜はどうだろうかと開花に胸をときめかせた。秋になると真っ赤な紅葉の色に感動し、雪に覆われた桜の木にレンズを向けた。撮った写真は数千枚になる。それらの写真が、映像やポスター、チラシなどと烏帽子山公園の桜を全国に発信する一助となつた。

例年なく雪の少ない今年の冬、温かな日差しに誘われて烏帽子山公園にのぼった。御神坂の石段そばに、季節を間違えたかのように水仙の花芽が顔をだし、小さなつぼみが膨らんでいた。桜のつぼみは固く、開花はまだまだ先である。

春の兆しを見せ始めると、今年の桜はどうだろうかとやきもきする。開花している桜をいち早く見つけたいと心躍らせながら、今日こそは今日こそはと歩き回つた。

烏帽子山公園の桜は百数十年前、赤湯に住む多くの人々の済財と労力によって公園が造られ桜の木が植栽

された。厳しい冬の寒さを乗り越えて咲くソメイヨシノ、エドヒガン、シダレザクラなど見る人の心を躍らせ、命の躍動を実感させてくれる。そして春の訪れを享受しながら、先人が植えた桜に思いを馳せる。

この桜を次の世代に伝えていくことこそ、今私たちに課せられた課題である。キロロの歌う「未来へ」は、「…未来に向かって ゆっくりと歩いて行こう」で終わる。この曲にのせて映し出される桜を、未来に生きる子ども達や若者に遺していく。鳥帽子山千本桜保存会はそんな役割の一端を担っているのではと、私もささやかながらお手伝いしている。

### ◆活動の記録(抜粋)

- |     |     |  |
|-----|-----|--|
| 4月  | 16日 | 総会、観桜会                                     |
|     | 19日 | 桜の苗木プレゼント準備                                |
|     | 20日 | 「桜の日」桜苗木プレゼント(30本)                         |
|     | 23日 | 研修視察旅行「八重の桜を訪ねて」                           |
| 5月  | 5日  | 定期観察会(枯枝等処理)                               |
|     | 8日  | 樹勢調査下見(樹木医 三森和裕 氏)<br>市建設課、市觀光協会の要請による合同調査 |
|     | 8日  | 置賜さくら会会長会(白鷹町)                             |
| 6月  | 2日  | 定期観察会(ひこばえ、枯枝処理)                           |
|     | 12日 | 置賜さくら会総会(赤湯温泉森の湯)                          |
|     | 14日 | 桜木樹勢回復作業(施肥作業)<br>市建設課、市内建設業者と合同           |
|     | 20日 | 国際ソロプチミスト南陽クラブ賞受賞                          |
| 7月  | 7日  | 定期観察会(種子採取・取り木補水)                          |
| 8月  | 4日  | 定期観察会(徒長枝・枯枝処理等)                           |
| 9月  | 1日  | 定期観察会(病害虫発生状況調査等)                          |
| 10月 | 6日  | 定期観察会(徒長枝・枯枝処理等)                           |
|     | 31日 | 秋の施肥作業<br>(赤湯小学校4年生117名参加*初企画)             |
| 11月 | 3日  | 定期観察会(生育状況調査等)                             |
|     | 12日 | ソロプチミスト日本財団 社会ボランティア賞受賞(新潟市)               |
|     | 中旬  | 樹勢回復調査事業(3本)三森樹木医                          |
| 12月 | 3日  | 若木の剪定講習会(講師 金田聖夫氏)                         |
| 26年 | 3月  | 定期観察会                                      |
|     | 11日 | 置賜さくら会会長会(白鷹町)                             |
|     | 31日 | 会報20号発行                                    |

\*役員会等は随時開催

# 躍進の10年のあゆみ

平成26年度

## ◆桜樹勢回復レポート

鳥帽子山に桜が植えられてから120年以上と言われております。その時仮に10年生の樹を植えたとすれば、樹齢は130年以上ということになります。

ソメイヨシノの最高齢と言われているのが弘前公園にある樹齢126年以上といわれる桜で、それは「見事」というほかに言い表せない樹勢です。でもそう考えると鳥帽子山公園にある桜もそれに匹敵する年月が経っていると考えられます。ご存じの通りソメイヨシノの平均寿命は80年ほどと考えられていますので、大変な長寿桜と言えます。ところが、いろいろな環境の変化もあり相当衰弱しているのが現状です。(略)

さらに、これまで見える部分の剪定や消毒・施肥等の管理作業は行われてきましたが、肝心の「根」についての調査や管理作業は行われてきませんでした。そこで平成25年度に市建設課主導で、当会顧問の三森和裕樹木医の指導の下、当園で樹勢・根系・土壌等を含む本格的な樹勢調査を行いました。

そこで浮かび上がってきたのが、公園造成時(昭和54年～57年)に行われた張芝の衣土として客土(20cm程度)が盛られており、これが発根を阻害し、桜にとっては良い環境とは言えないことがわかつてきました。これらの調査結果から、今年10月からさくら樹勢回復作業が、市建設課主導・三森樹木医の指導で行われました。

(略)

鳥帽子山公園は百年近い歴史のある桜が多数あります。少しずつ地道に努力を続け将来につなげることができればという想いで作業を行ってまいりました。(略)

(会報第21号から抜粋)



## ◆赤湯小学校4年生施肥作業

昨年から始まった協働作業も2年目。8月に加藤先生から事前指導をいただき、10月30日には保存会員と桜に施肥を行いました。今年は、引率の先生から寄稿いただきました。

## ◆「子どもたちの元気を」

赤湯小学校教諭 網代 京子

今年、赤湯小学校に赴任し、本当にびっくりしたことは、学校から見える桜の美しさでした。教室の脇にある樹はもちろん、遠くにある鳥帽子山公園の桜もよく見え、心をなごませてくれました。千本桜保存会の方から、子どもたちに千本桜についての話をうかがったり、肥料をまく機会をいたしました。そのことから、赤湯の人達の桜への思いや、きれいに咲かせるために1年かけて手入れをしていることを、少しでも知ることが出来たと思います。

子どもたちの元気が、この鳥帽子山公園の桜に届いて、来年もきれいな花が咲き、たくさんの人を元気にしてくれることを願います。(会報第21号から転載)

## ◆研修旅行～角館の桜を訪ねて～

窓から見える枝垂桜は黒い板塀の武家屋敷を囲むかのように、雨に打たれてしつとり咲き誇っていました。(大沼)



## 鳥帽子山千本桜の彌栄願って

南陽写友会 青木 俊輔

1月の下旬に1通の封書が届いた。開封してみると、鳥帽子山千本桜保存会事務局からで、私も公職を離れてからもう十数年近く、社会との接点も希薄となりつつある今、南陽市の重要な組織である鳥帽子山千本桜保存会からの寄稿依頼であった。これに応えられるかどうか正直言って戸惑いがあった。

と、言うのも桜に関しては全く無知の世界、さくらに関する知識は何一つ無いのである。辞退したかったが考えてみると、平成2年に南陽市商工会に在職中、商工会の理事であった山川章氏が保存会の初代会長として活躍され、二代目の柴田正夫会長も南陽写友会の会員の傍ら、千本桜保存会の会長として事業運営に当られご貢献されました。私もご両氏から大変お世話になりましたので、この紙面を借りてお礼の一言を申し述べることが、自分に与えられた天与の責務であるまいかとも考え、あえて拙稿をさせていただくにした次第です。

鳥帽子山公園の桜は樹齢百数十年を数え、古木も多く、その数なんと千本近くと聞く。このように全国屈指の桜の名所となった公園は何時頃誕生したのか。記録によると明治11年に赤湯北町に鎮座されている八幡宮を鳥帽子山にお還しするため、山一帯を公園（偕楽園）として整備されたときに数百本の桜を植樹したと文献に記録されていた。平成2年の春に、「日本さくら名所100選の地」に指定されたが、この頃の鳥帽子山公園は荒れ放題、それを何とか整備しさくらを守ろうと立ち上がったのが保存会初代会長の山川章氏。

そして、二代目の柴田正夫会長の基では、桜の良好な保存管理をはじめ、さくらの不抜運動、名木の保存、植栽運動等並々ならぬ活動を続けられ、名実ともに桜の名所として全国に知られ、シーズン中の観光客は15万人を超えると聞く。更に、「2009全国さくらシンポジウムイン南陽」を開催し、全国に桜の名所南陽を周知させるなど、献身的な活動に敬意を表する次第です。

今年の冬は暖冬とも言われ、久し振りに昨夜降った深雪の上を転びそうになりながら鳥帽子山公園を歩いてみた。桜の枝に雪が積もり、まるで、さくらの花が咲いたよう。朝早くから多くのカメラマンも雪で染まったさくらの古木を写すべく賑わっていた。

鳥帽子山全体が赤みを帯びてくると、さくらの節もうすぐ訪れる。春のまばゆい日差しで艶やかに咲き誇る姿とは別にもうひとつの顔が桜にあります。それは月明りやボンボリの灯りに照らされた夜桜です。昼間と違い闇に浮かび上がる姿は、不思議なほどに妖しさをたたえ、人々を魅了します。この公園の夜桜はまさに幻想的でカメラマンには良い撮影地である。

鳥帽子山のさくらは、歴史的にも自然環境においても南陽市にとって素晴らしい財産であり、この広い公園を維持、管理し、保存していくには大変なご苦労も伴い、保存会皆様の心温まる活動に敬服する次第です。

最後に、鳥帽子山千本桜保存会の益々の繁栄を祈念し筆を擱きます。

### ◆活動の記録（抜粋）

- |      |     |   |
|------|-----|---|
| 4月   | 19日 | 桜の苗木プレゼント準備                             |
|      | 20日 | 桜の苗木プレゼント（30本）                          |
|      | 23日 | 総会、観桜会（鳥帽子山八幡宮参集殿）                      |
| 5月   | 3日  | 定期観察会（幼木の雪囲い撤去等）                        |
|      | 15日 | 置賜さくら会会長会（白鷹町）                          |
| 6月   | 7日  | 定期観察会（ひこばえ・枯れ枝等処理）                      |
|      | 11日 | 置賜さくら会総会（長井市 はぎ苑）                       |
|      | 18日 | 桜木樹勢回復作業（施肥作業）<br>市建設課、地区内建設業者と合同       |
| 21日  |     | 南陽青年会議所「ふるさとOMO I YA R I プロジェクト2015」に協力 |
| 7月   | 5日  | 定期観察会（桜の幼木園除草等）                         |
| 8月   | 2日  | 定期観察会（ひこばえ・枯枝等の処理）                      |
| 9月   | 6日  | 定期観察会（桜幼木の手入れ等）                         |
| 10月  | 4日  | 定期観察会（徒長枝・枯枝等の処理等）                      |
|      | 20日 | 秋の施肥作業<br>(赤湯小学校4年生104名参加)              |
|      | 25日 | 樹木医 小林勝氏講演会参加（長井市）                      |
|      | 27日 | 東北・桜サミットに参加（南陽市）                        |
| 11月  | 1日  | 定期観察会（幼木の剪定・雪囲い等）                       |
| 28年  |     |   |
|      | 3月  | 15日 置賜さくら会会長会（白鷹町）                      |
|      | 31日 | 会報22号発行                                 |
| 1~3月 |     | 鳥害駆除・春の剪定・雪害による折れ枝<br>・枯損木処理（市建設課と合同）   |

\*役員会等は随時開催

# 躍進の10年のあゆみ

平成27年度

## ◆南陽青年会議所

### 『ふるさとOMOIYARIプロジェクト

～千本桜に感謝を～

### 「ふるさとの風景に感謝を」(寄稿)

総務情報発信委員長 島津 祐介

過日平成27年6月21日(日)烏帽子山公園で実施しました『ふるさとOMOIYARIプロジェクト～千本桜に感謝を～』に、烏帽子山千本桜保存会様の多大なるご支援を賜りましたことに深く感謝申し上げます。また、企画当初からご指導賜りました柴田会長、大澤事務局長、そして施肥作業の講師までお引き受けいただきました平林造園平林敏男様に重ねて御礼を申し上げます。

当日は、地域行事やスポーツ大会など催しが重なる中、烏帽子山千本桜保存会様、南陽市社会福祉協議会ボランティア登録団体様、南陽市商工会青年部様、市内スポーツ少年団様、一般参加者の皆様、総勢112名のご参加いただき、午前9時より約2時間の手作業による施肥作業を大過なく無事終了することができました。



本事業は、郷土への感謝の気持ちである「OMOIYARI」の心を育むことを目的とし、山形県内の17青年会議所が各々の手法を用いて、各活動地域にて同日同時刻に一斉に開催する協働運動であります。企画立案をしていく過程で、改めて郷土を学び見識を深めていく中で、強く印象に残ったのが烏帽子山公園の千本桜でした。平成2年に「日本桜名所百選の地」に選ばれ、置賜さくら回廊の南の基点になっております烏帽子山公

園は次世代へ伝えるべき美しい郷土の風景であります  
が、最も心を打たれたのは過去に温泉街を襲った二度  
の大火に負けず明るい郷土の未来を願い、艱難辛苦を  
乗り越え、烏帽子山公園を創設された先人達の想いで  
した。責任世代である我々は、今なお残るふるさとの風  
景に拝謝申し上げ、想いを次世代に繋いでまいります。  
私も子を持つ親として、まもなく咲き誇る千本桜の中を、  
子どもと手をつなぎ歩く事をとても楽しみしております。  
(会報第22号から抜粋)

## ◆観光客寄稿

フォトグラファー 山田 春子

2015年の4月に東京から約20名のお客様と、置賜桜回廊と福島県の名桜を撮る2泊3日の写真撮影の旅で烏帽子山千本桜を訪れました。

今回の様に1日に何か所も巡るツアーでは、(略) インターネットが頼りなのですが、今回は「さくらちゃんブログ」でこまめに開花状況が発信されていたり、WEB上に掲載されていた園内の案内マップが地点ごとの写真入りでとても役に立ちました。(略)

やがて日没の時間になり、公園から見下ろす街の明かりと、ドラマチックな夕焼けが一層の旅情をそりました。(略)

この場所の桜がもしライトアップされていたら、たそ  
がれのブルーの空と、満開の桜と夕焼けの3点セットで  
撮れるなあ(略)と想いをめぐらしながら烏帽子山公園  
を後にしました。(略) 地元の保存会の皆様には、ぜひ  
この風景を残してほしいと思います。(会報第22号から  
抜粋)



## 花見橋から烏帽子山千本桜を望む

赤湯温泉通りまちづくり協議会  
会長 安孫子 実

街路整備事業は私ども赤湯温泉通りまちづくり協議会の主事業です。本県を縦断する1級国道13号線と新幹線の停車する赤湯駅を結ぶ南陽市の顔とも言うべき主幹道路、赤湯停車場線の歩道整備を始めとした路線の拡幅と沿線の活性化推進事業であります。その赤湯停車場線の中心に位置しているのが、1級河川吉野川に架かり、令和元年11月末に4年の工事期間を経て完成した赤い欄干が特徴的な花見橋です。

時代を遡ること120年前（明治33年）、当時の奥羽本線延伸を受け、赤湯停車場線が新設されましたことによりこの花見橋が架かることになりました。当時は妹背橋を渡る赤湯一小松線が既にあり、100メートル程を経て道路を新設するのは財政負担の面からも大事業でした。また、手打ち式には当時の三島県令が仲立ちをしたとあることから、町を二分しての騒動が大きかつたことが伺えます。

こうして難産の末出来た花見橋は、明治11年頃から植栽された現在の「日本さくら名所100選の地」烏帽子山千本桜を眺望するのに好適な橋として、「花見橋」と命名されたと言われております。大正時代の中期には、花見橋の近くにある通称古堤周辺に遊郭等も数軒あり、堤は東屋がせり出して建てられ、屋形船を浮かべて涼を楽しむ男女の絵葉書が残っております。景勝地としても花街としてもたいそう賑わっていたことが伺えます。

花見橋の東側に位置する花見町地区は、昭和10年に二色根二区から独立する際、花見橋の名をいただき花見町としたと伝えられております。先の大戦の折には、

『出征兵士の武運長久と無事帰る』の思いを念じ、橋のたもとに出征の松（無事帰るを待つ親心）を植樹と伝えられており、当時の写真も残っています。そういう町民の思いと遷座百年を超える烏帽子山八幡宮を氏神として、「日本さくら名所100選の地」の烏帽子山千本桜のある観光地へ新幹線を利用して訪れる観光客に、赤湯温泉通りの中心に赤い欄干に擬宝珠のシンボリックな橋が、昭和58年9月に老朽化した橋の改修と歩道増設の際に出来たと思われます。南陽市民にとって、

赤い欄干の花見橋を渡るたびに眺める烏帽子山の景勝は、郷愁の思い出深い原風景となっていました。当初、市内の他の橋と同様茶色の欄干の計画でしたが、そうした歴史背景と市民の想いを県に請願し赤い欄干の18mの新設花見橋が完成いたしました。

### ◆活動の記録（抜粋）

- 4月 13日 研修視察（船岡城址公園と白石川一目千本桜…桜花散って中止）  
19日 桜の苗木プレゼント準備  
20日 「桜の日」桜の苗木プレゼント（30本）  
23日 総会、観桜会（えくぼプラザ）  
5月 1日 定期観察会（枯れ枝除去等）  
10日 置賜さくら会会长会（長井市）  
6月 5日 定期観察会（枯れ枝除去等）  
15～16日 置賜さくら会総会、研修旅行（盛岡市石割桜等）  
19日 南陽青年会議所「烏帽子山公園の千本桜 花咲かせ隊大作戦」  
7月 3日 定期観察会（ひこばえ、枯れ枝除去等）  
5日 桜木樹勢回復作業（施肥作業）  
市建設課、地区内建設業者と合同  
8月 7日 定期観察会（ひこばえ、枯れ枝除去等）  
9月 4日 定期観察会（幼木の管理と除草等）  
10月 2日 定期観察会（西山の幼木管理等）  
18日 秋の施肥作業（赤湯小学校4年生90名参加）  
11月 6日 定期観察会（徒長枝の管理等）  
29年  
3月 10日 置賜さくら会会长会（長井市）  
31日 会報23号発行  
1～3月 烟害駆除、春の剪定、雪害による折れ枝・枯損木処理（市建設課と合同）

\*役員会等は随時開催

# 躍進の10年のあゆみ

平成28年度

## ◆『どこにいるのかな？ 自然のエドヒガン』

樹木医・森林インストラクター 本会顧問  
三森 和裕

エドヒガンザクラは長井や白鷹の樹齢800年以上の桜回廊の樹木が有名であるが、1本が独立して植えられたものである。それにひきかえ、南陽市赤湯にある



鳥帽子山公園は、エドヒガンザクラの宝庫である。樹齢は100年を超えており、群落のように多くのエドヒガンが生育している場所はそう多くないので、貴重な場所である。今年は鳥の食害の影響はどうであろうか。

エドヒガンザクラは、図鑑をみれば自然種である。しかし、山形県内で、その自然の姿を見ることはできない。いったいどこにあるのだろうか？エドヒガンは自然の樹木といわれていますが、どうして山にはないのでしょう。サクラにとってウソは害虫でも、ヒヨドリは受粉に大きく貢献しています。花を早く咲かせるのは、ヒヨドリやメジロなどの蜜吸い鳥を独占するためではないでしょうか。エドヒガンの特徴は葉より早く花が咲くことでしょう。日本に自生のサクラで葉より先に花を咲かせるのは、カンヒザクラを自生とすれば、カンヒザクラとエドヒガンだけです。どちらかが片親で生まれた品種群には葉より花が先のサクラもありますが。この葉より花が先に咲く性質は日本の自生種の中で古い性質を残している種といえないでしょうか。日本の環境に適応すると花を咲かせながら葉ができる方が有利です。私は、エドヒガンは古い種で、新しく進化したヤマザクラやオオヤマザクラ、カスミザクラなどに負けて、山の中の他のサクラが住みにくいところに逃げ込んで生き延びていると考えています。だから山でもあまり野生の姿で見る機会がないのです。ともかくにも、どの図鑑も九州・四国・本州に分布との記載のみです。全国の森林インストラクターの仲間にも尋ねたこともありますが、実際に自然の状態で群落を形成している場所は特定できませんでした。

自然種と言われながら、山には見当たらないエドヒ

ガンザクラ。とても不思議な樹木です。春はまもなく。エドヒガンの群落を観に鳥帽子山公園にいきましょう。

(平成28年2月新聞 美しいやまがた原稿、会報第23号から転載)

## ◆「桜一本から広がる学びの世界」

赤湯小学校教諭 後藤 昌幸

4月18日、赤湯小学校の4年生は、鳥帽子山の満開の桜を見るため、校外学習でかけました。その美しさにみとれつつ、子どもたちは目を輝かせて、どうして1本1本に番号がふられているのか、何本の桜が何種類あるのか、種類によって咲き方はちがうのか、どんな風に育てるところなきれいな花が咲くのか、と沢山の疑問を持って帰ってきました。小さなころから観てきた桜だからこそ、小さなころから遊びに来た鳥帽子山だからこそ、「知りたい」という子どもの探求心が刺激されたのだと思います。

さくら祭りでスピーカーから流れていた音楽は何という曲なのか、という疑問を持ったグループは、「赤湯音頭」を踊られている地域の方から、実際に踊りを教えていただきました。さくらを使った名物料理はあるか調べていた子どもたちのグループは、赤湯温泉の旅館をたずねて、さくらで料理をつくるときの経緯やご苦労を直接教えていただきました。そうした探究活動を通して、桜を愛し、赤湯の町を愛し、それを受け継いできた方々の思いにふれることができました。

施肥作業をさせていただいたとき、桜の木を目の前にして、「この桜の木からたくさんのこと学ばせていただいたんだな」と改めて思いました。わたしも子どもたちと同様、来年の開花が待ち遠しいです。(会報第23号から転載)



## 千本桜に思いを馳せて

濱田 まち子

お神坂のぼんぼりに灯が点る頃、いつも気持ちが高揚してくるのを憶えます。私の娘たちもそして孫たちも、幼いころからぼんぼりを目にすると、嬉しくて大はしゃぎしたものです。遺伝子なのでしょうか、はたまた育った環境とでもいうのでしょうか。親子代々皆、良く似るものだとついつい失笑してしまいます。

昔の公園は、今の様に整備されていませんでしたが、四季折々の自然に触れ様々な体験を通しながら学習ができ、子供たちにとっては無くてはならないエリアだった様に思います。春は桜まつりに始まり、夏の盆踊り、秋になれば八幡様のお祭り等々。明治生まれの祖父の時代より、大正、昭和、平成と家族が慣れ親しんできた烏帽子山であります。このように地域に計り知れない恩恵を与えてくれた烏帽子山公園の千本桜が、「日本さくら名所100選の地」に指定された時には、家族はもとより地域の方々と嬉しくて、とても歓喜したのを今でも深く心に残っております。

近年は烏帽子山公園愛称木散策マップを手に、散策される方々の姿を良く見受けられます。皆様もご存じの通り、愛称木と呼ばれる樹木はいずれも名木中の名木で、1本1本に付けられたネーミングは、絶賛の一言に尽きます。臨雲桜、鳥居の桜、見返り桜、おとぎ桜と、甲乙付け難い18本の名木揃いです。中でも、樹齢140年以上の二代目放鳥目白桜と、輪廻の桜と名付けられた樹木に個人的ですがとても魅了されます。どちらも二代目桜で、放鳥目白桜は優雅でお且つ、凛とした姿は何と美しい事か。一代、二代と美しく咲き誇る姿には心打されます。また、輪廻の桜は親子が互いに助け合い、親は子を思い子は親を思う、互いに弱った幹を支えあい開花する様は何とも感慨深く、現代の社会に何かメッセージを投げかけている様な気さえ致します。この様な愛称木がこれから先もずっと、代々幾久しく受け継がれます様願って止みません。そして、百数十年前に千本桜の礎を築いてくださった先人の方々を始め、長きに渡り携わって来られた保存会の皆々様のご尽力に感謝申し上げますとともに、千本桜保存会30周年を心よりお祝い申し上げます。

今年の冬は雪が少なかったので、桜の樹木に害虫

等の被害が及ばないようにと願いながら、つたない原稿を閉じました。しかしながら、その数週間後、ぼんぼりの準備も整い桜の芽が膨らみ始めた頃に何と、コロナウィルスが全世界を震撼させる事態となり、こうしている間でも戦々恐々と過ごす毎日です。桜まつり等のイベントの中止は大変残念ですが、この事態が収束し、心穏やかに千本桜を愛でる日が早く来る事を願うばかりです。

### ◆活動の記録(抜粋)

- 4月 13日 研修視察(船岡城址公園と白石川一目千本桜…桜花散って中止)  
19日 桜の苗木プレゼント準備  
20日 「桜の日」桜の苗木プレゼント(30本)  
23日 総会、観桜会(えくぼプラザ)  
5月 1日 定期観察会(枯れ枝除去等)  
10日 置賜さくら会会长会(長井市)  
6月 5日 定期観察会(枯れ枝除去等)  
15~16日 置賜さくら会総会、研修旅行(盛岡市石割桜等)  
19日 南陽青年会議所「烏帽子山公園の千本桜花咲かせ隊大作戦」  
7月 3日 定期観察会(ひこばえ、枯れ枝除去等)  
5日 桜木樹勢回復作業(施肥作業)  
市建設課、地区内建設業者と合同  
8月 7日 定期観察会(ひこばえ、枯れ枝除去等)  
9月 4日 定期観察会(幼木の管理と除草等)  
10月 2日 定期観察会(西山の幼木管理等)  
18日 秋の施肥作業  
(赤湯小学校4年生90名参加)  
11月 6日 定期観察会(徒長枝の管理等)
- 29年
- 3月 10日 置賜さくら会会长会(長井市)  
31日 会報23号発行  
1~3月 鳥害駆除、春の剪定、雪害による折れ枝・枯損木処理(市建設課と合同)

\*役員会等は隨時開催

# 躍進の10年のあゆみ

平成29年度

## ◆「守り、育て、引き継ぐために」 新会長 新山 真弘

はじめにご挨拶を申し上げます。私は昨年、烏帽子山千本桜保存会の総会において本会の会長を仰せつかりました、新山真弘と申します。

先人から遺された歴史ある「日本さくら名所100選の地」の千本桜を守り、育て、次の世代に引き継ぐ仕事の一翼を担う重責に身が引き締まる思いでいるところです。本会の活動におきまして



「ふるさとOMOIYARIプロジェクト  
『集まれ! 桜見守り隊』」施肥作業  
南陽青年会議所主催



赤小4年生の施肥。君の一振りが桜と心を育てます。

は、これまでと変わらないご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

私事ですが昨年は、福島県や宮城県の桜そして県内は白鷹町に長井市の桜等と、桜前線を追いかけ、桜花爛漫の春を満喫する事が出来ました。それぞれの桜は、保存会等の組織の皆さんや地区の人々の熱い想いに応えて咲いてくれたような見事なものばかりでした。力強くそして美しく咲き誇る満開の桜は地域にとっては、待ちに待った春を知らせてくれる特別な存在です。もちろん、烏帽子山の千本桜も市内に賑わいを生み出す、地域の大きな財産となっております。(略)

最後になりますが、会員の若い力の不足が目立ってきております。組織の若返りを図るために特に若い人の入会のお勧めもお願い申し上げます。



4月20日は「桜の日」。孫の誕生記念、結婚記念にと、桜のプレゼントは、ともに夢を育みます。お幸せに。



地味ですが大切な「定期観察会」。  
今日は幹に巻き付いた「ツル」とり。



さくらの花芽を守れ!!「鷹ハリーホーク」  
「ウソ」から花芽を守るために、「鷹」「ドローン」「擬音発生装置」などの対策をしています。「人の気配」も効果的ですので、朝の散歩におこしください。

## 「えくぼの里案内人」として

安達 悅子

♪桜豊に咲き競う 烏帽子の山の朝ぼらけ♪  
この校歌を初めて耳にしたのは、子供が赤湯中学校に入った時で、躍動的で烏帽子山公園が鮮明に映し出されているその校歌に、私は感動しました。桜の花々が、公園一面に個性豊かに色づいていく様は、外から眺めるだけでしたが、私の心の中ではいつも咲き続けていました。

そんな烏帽子山公園をじっくりと中に入って見られるようになったのは、「えくぼの里案内人」になってからでした。それは、桜まつり、菊まつり、雪まつり等南陽市の観光イベントでお手伝いしながら、学び合うことや仲間作りを大切にしているボランティア団体です。

農業の忙しい中、私は当番だからと言って家を抜け出します。その頃、公園には大型バスが次々と上がって来て、県内外の観光客で賑わっています。満開の頃、ソメイヨシノ、エドヒガン、シダレザクラ等が空一面に見事に咲き誇り、その美しさに皆感動します。烏帽子山千本桜が見たいと、長距離バスでおいでくださるお客様方ですが、開花前だったり、葉桜だったりの時もあります。そんな時こそ喜んでもらえる様におもてなしをするのが、「私たちえくぼの里案内人の役目」と思ってみんな頑張っています。幸いにもこの公園は、広い敷地に沢山の種類の木があり、桜の満開も微妙にずれてくれます。全国の有名桜二代目園では、まわりが葉桜になった頃に咲く菊桜等もあり、長く楽しむことができます。また、高台があるので、前を見ても後ろを見ても、上を見ても下を見てもいろいろな景色があり、赤湯の街並みや温泉街も見られ、皆様を飽きさせません。桜だけでなく、八幡神社、石の大鳥居、烏帽子石等、他にも見どころいっぱいの公園です。

こんな事もありました。「日本さくら名所100選の地」に選ばれた桜を見ようと、遠くから団体さんで来てくださったのですが、最盛期を過ぎ、がっかりしていました。ところが、案内中に突然風が吹き、花びらが一面に舞い、年輪を重ねたエドヒガン桜の巨木の前で桜ふぶきをいっぱい受けたので散策を、「この公園でないと出来ない体験ができた」、「お金では買えない一生の思い出が出来た」と言って喜んでくださいました。案内人としても、この上ない喜びです。

私たちえくぼの里案内人は、お客様との語らいを大事にし、赤湯温泉を紹介して御利用をお願いしています。そして、この公園を築き上げてくれた先代の方々、守り

続けてくれた千本桜保存会の皆々様への感謝の気持ちを持ってこの公園の素晴らしさを伝え、お客様に喜んで頂ける様に案内したいと思っています。また、四季折々の美しさを見せててくれる烏帽子山公園に、桜の季節だけでなく、沢山の人が集うことも願っています。

30周年を迎えた烏帽子山千本桜保存会の益々の発展をお祈りいたします。

### ◆活動の記録(抜粋)

- |      |     |   |
|------|-----|---|
| 4月   | 2日  | 定期観察会(雪折れ枝の除去)                          |
|      | 13日 | 研修視察(船岡城址公園と白石川堤一目千本桜)                  |
|      | 19日 | 桜の苗木プレゼント準備                             |
|      | 20日 | 「桜の日」桜の苗木プレゼント(30本)                     |
|      | 24日 | 総会、観桜会(えくぼプラザ)                          |
| 5月   | 7日  | 定期観察会(枯れ枝除去等)                           |
|      | 10日 | 置賜さくら会会长会(長井市)                          |
| 6月   | 4日  | 定期観察会(枯れ枝除去等)                           |
|      | 13日 | 置賜さくら会総会(ハイジアパーク)<br>平林広報部長活動報告         |
|      | 18日 | 南陽青年会議所「集まれ!桜見守り隊○」<br>さくら苗木五本植樹        |
|      | 30日 | 烏帽子山公園周辺整備計画第一回ワーク<br>ショップ 4名参加         |
| 7月   | 2日  | 定期観察会(枯れ枝除去等)                           |
|      | 5日  | 桜木樹勢回復作業(施肥作業)<br>市建設課、地区内建設業者と合同       |
| 8月   | 6日  | 定期観察会(ひこばえ、枯れ枝除去等)                      |
|      | 31日 | 烏帽子山公園周辺整備計画第2回ワーク<br>ショップ 4名参加         |
| 9月   | 3日  | 定期観察会(枯れ枝除去等)                           |
| 10月  | 1日  | 定期観察会(ひこばえ、枯れ枝除去等)                      |
|      | 24日 | 秋の施肥作業(赤湯小学校四年生78名参加)                   |
| 11月  | 5日  | 定期観察会(幼木の管理等)                           |
|      | 10日 | 烏帽子山公園周辺整備計画第3回ワーク<br>ショップ 4名参加         |
| 30年  |     |   |
| 1月   | 19日 | 樹木医講習会(山形市)                             |
| 3月   | 14日 | 置賜さくら会会长会(長井市)                          |
|      | 31日 | 会報24号発行                                 |
| 1~3月 |     | 鳥害駆除、春の剪定、雪による折れ枝・<br>枯損木伐採処理作業(建設課と合同) |

\*役員会等は随時開催

# 躍進の10年のあゆみ

平成30年度

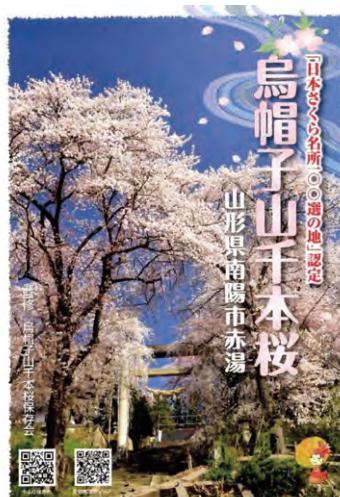
## ◆初版から10年ぶり 「鳥帽子山公園愛称木散策マップ」を 改訂～本誌「口絵写真」～

「愛称木散策マップ」には、保存会の熱い歴史がありました。

20年度に公園内の巨木や名木に愛称を付けて手作りマップを作成して来園者に配布したところ大好評を得たのが最初だったそうです。翌21年には最上川フォーラムをはじめ多くの団体から助成をいただき「カラー版鳥帽子山公園散策マップ」が完成しました。公園内の施設も写真で紹介されており一層分かりやすいマップになりました。22年度春から来園者に配布されました。裏面には赤湯地区内の名所等も掲載され、このマップを手に多くの人たちが鳥帽子山公園の散策を楽しんだそうです。

そして初版から10年経った今年の春、来園者が一層使いやすいようにと、改訂させていただくことにいたしました。特に、インバウンドのお客様にもご理解いただけるようにと、「鳥帽子山千本桜の楽しみ」の欄を新たに設け、4言語（日本語、英語、中国語（繁体字・簡体字）、ハングル語）で表記しました。（本誌45・46ページを御覧ください）また、「QRコード」も多く付け、スマートホンからも立体的に情報を得られるようにいたしました。これらの案内システムには南陽高校の生徒たちも参加していただきました。鳥帽子山公園の美しさが世界中に広がり共有されることは、誇りや愛郷心の醸成にもつながってくるのではないかでしょうか。

なお、このマップ作成には、南陽市観光協会や赤湯地区ふるさとづくり推進協議会からもご支援いただき、今年は3,000部作成いたしました。おかげさまで大好評です。



## ◆研修旅行 ～会津の桜を訪ねて～

4月12日の晴天の中、女性会員4名を含む13名が参加し、会津方面への研修視察旅行が行われました。

鶴ヶ城公園は満開の真っただ中で、多くの人たちが桜花繚乱を満喫していました。

続いて、会津美里町の「薄墨桜」、会津坂下町「杉の糸桜」など、名木を見学しました。

「楽しく学ぶ旅」、来年も行きましょう。



## ◆春と秋に「さくら通信」を発行します

鳥帽子山の桜や保存会の情報は、今は年1回の会報とコンピュータのブログですが「コンピュータ見らんにえなよ」というご意見もありました。事務局では、「情報の共有は大事なので『年2回通信＋会報』で頑張ってみつか!」ということになりました。

がんばります！お楽しみにしてください。

鳥帽子山千本桜保存会  
**さくら通信**  
140 年前から受け継ぐ南陽市の宝  
「桜花爛漫の鳥帽子山」のために

市民みんなで～保存会から 14 人参加～  
「日本さくら名所○○選の地」認定  
開催地は、赤井市立白鷗小学校の桜並木（「櫻吹きくら conflit」）を歩いて、精錬工場跡で研修を行ってきました。

開催地にまくべつこの桜の歴史がたくさんあり、  
南陽市立白鷗小学校の桜並木（「櫻吹きくら conflit」）を歩いて、精錬工場跡で研修を行ってきました。

6月 11 日には、白鳥町の川に水没して船が沈められ、  
本町から山岳会はひじら 5 人の会員が参加しました。  
佐野白鳥町長を来賓に迎え、「守護成事會」として今回  
は「甲賀大明神桜保存会」「船引の桜保存会」「某前田氏  
公」の3つの桜保存会の会員から、保存活動の説教が行われました。会員は、  
さくらの花はそれを咲く木であります。今、春になると、  
幹周約 1000cm の大木が咲いています。大きさは、10m 程度で、枝葉は、10m 程度で、枝葉は、  
結構大きいです。これが船引の桜であります。船引は、130 年程でこれらは隣  
を越える木々たちです。これらは船引の桜であります。みんなで一緒に咲かせたいと思います。

「櫻吹きくら conflit」保存会管理  
前田氏の「櫻吹きくら conflit」の歴史が  
確実にここから、本町に  
少しずつ、桜吹きくら conflit を行いました。  
もう一つは、「櫻吹きくら conflit」立ち  
ちら吹きがかなりでかいらしい千本桜  
保存会と表記しました。(8/16 実測)  
今は、花が咲いていない桜も大  
切に育てていましょう。

第 3 回 ◎  
1 平成 31 年度鳥帽子山千本桜保存会の  
研修研修は、4 月 11 日に、白鳥町で全国  
さくら選定会「櫻吹きくら conflit」の本町への  
登録をめざす研修を行いました。登録は、  
今から、白鳥町の桜吹きくら conflit が  
2 旗川小学校 4 年生との「櫻吹きくら conflit」  
を 10 月 30 日にあります。改めて「さくら  
吹きくら conflit」を登録する予定です。  
3 月例会は、花が咲いてない桜も大切に  
育てていましょう。

(文責：竹田)

## 鳥帽子山公園 隨想

赤湯温泉 おかめ会 会長 須藤 恭子

鳥帽子山はかつて、偕楽園と呼ばれていたらしい。

水戸の園と同名なために、八幡宮の境内にある鳥帽子の石から、その名前を変えたと伝えられているようです。

町からこれほど近くに、このあたりから米沢のほうまでが一望できるこの地は、かつて明治の時代に鳥居が建立されたり、置賜33観音の12番札所の若松觀音堂が川西から赤湯のこの地に移築されたりと、観光の場所として多分注目をあびていたのではと考えられます。そのような場所にさらに桜を植えてお客様をお呼びして、赤湯の地の繁栄を願われた私達のご先祖様方の大いな志に深く尊敬の念を持ちます。昔の方たちの貧しくとも、心豊かな時代が確かにここに存在していたのだと思います。

公園のシンボルでもある石の鳥居は、史実にあるように明治35年から翌36年にかけて、參集殿の裏手の東正寺の新墓地あたりから石凝灰岩を切り出して建てられたものです。昭和30年代にはまだ、掘り出されたところに大きな穴があったとのこと、名石工の吉田善之助氏と建方の市川良次氏の2人を中心に関町民の力で建立された日本一の鳥居です。ちなみに、吉田善之助氏は私どもの旅館の初代の瀧藏とおなみの依頼で狛犬も建立しています。その当時の鳥居の設置の様子をイメージすると、ガリバー旅行記のように、町民全員が綱を引きながらバランスをとって、境内から石を立てたのだと思うのですが…。叶うことならその時にタイムスリップできれば、眺めてみたいと思います。

ダーウィンの進化論にあるように、時代を乗り越えるに必要なのは、強い力でもなく、財力でもなく、知力でもなく、ただ一つ変化に対応していく力とあります。先祖が守ってきたこの温泉旅館を守り切ることもだんだん難しくなり、旅館の数も減りまた、経営者も変わったり目まぐるしい時代に、温泉旅館を、温泉文化を、大きな変化に対応しながら、後の世に残していくことが私たちの使命なのだと思います。時代の新しい変化に対応して、観光素材を考え実行し、そして、桜を植樹することに思いいたった先人の方たちの考えに応えていきたいと思うこの頃です。

鳥帽子山千本桜保存会の皆様の活動30周年、誠に

おめでとうございます。日々の積み重ねに敬意を表します。赤湯の宝とともに守り育ててまいりましょう。

### ◆活動の記録(抜粋)

- 4月 1日 定期観察会  
10日 全国桜名木2代目園看板交換  
12日 研修視察旅行(会津方面)  
14・15日 「鳥帽子山公園散策マップ」配布、案内  
19日 桜苗木プレゼント準備  
20日 「桜の日」桜苗木プレゼント  
24日 総会、観桜会(えくぼプラザ)  
5月 5日 「さくら通信第1号」発行  
6日 定期観察会  
6月 3日 定期観察会  
11日 置賜さくら会総会(白鷹町)  
7月 1日 定期観察会  
3日 さくら樹勢回復協働作業  
市建設課、地区内建設業者と合同  
8月 5日 定期観察会  
9月 2日 定期観察会、「輪廻の桜」防護柵設置  
10月 7日 定期観察会  
29日 「さくら通信第2号」発行  
30日 秋の赤小4年生との施肥協働作業  
(雨天で講義のみ)  
11月 4日 定期観察会  
  
31年  
2~3月 「ウソ」対策 鷹・ドローン・早朝巡回  
3月 3日 定期観察会  
27日 南陽高校生と「エドヒガン」ネームシール貼付  
31日 ◎会報25号発行  
◎改訂版「鳥帽子山公園散策マップ」  
発行(インバウンド対応=4言語で  
説明表記、QRコード(市観光協会・  
旅館組合・南陽高校・千本桜保存会)  
とリンク)

\*役員会等は隨時開催

# 躍進の10年のあゆみ

## 平成31年度・令和元年度

### ◆柴田前会長国土交通大臣表彰

鳥帽子山千本桜保存会 会長 新山 真弘

平成から令和へと新しい元号を迎えた記念すべき令和元年の鳥帽子山千本桜保存会には、大変嬉しいニュースがありました。

本保存会の柴田正夫前会長が、都市緑化功労者の表彰として、国土交通大臣より感謝状の贈呈という栄誉を授かりました。この表彰は、柴田前会長が本会の事務局長と会長を23年間の長きに渡り務められ、鳥帽子山公園の桜の管理保存に大きく貢献された実績が認められたものです。そしてこの受賞は、本保存会にとりましても大変名誉なことであり、これから活動にも大いに励みになる、嬉しい出来事がありました。(略)

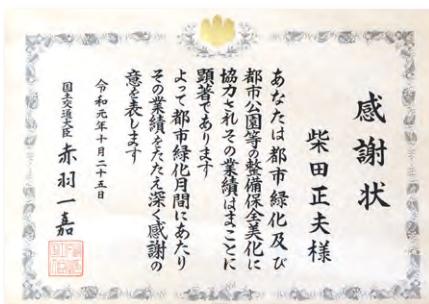
年保存会は節目の設立30周年を迎えることができました。(受賞記念と30周年の祝賀会は、新型コロナが猛威をふるい、延期とさせていただいております。)先人が遺してくれたこの地域の宝を守り・育て・次の世代に引き継ぐために私たちは、『桜は人でさく』の言葉をかみしめ、様々な活動を続けていかなければならぬと、責任を感じているところです。

皆様におかれましても、なお一層のご理解と御支援・ご協力をよろしくお願い致します。(会報第26号から抜粋)

### ◆赤湯中学校生徒が募金 「ぼくたち小学校4年生の時 ここに桜に肥料やったんです」

4月20日を「さくらの日」と制定し、桜の苗木プレゼントを始めたのは、平成5年から。赤湯小学校4年生が鳥帽子山公園の桜に肥料を施すようになったのは平成25年から。

そして平成31年4月20日、満開の千本桜の下にその



中学生たちが現れ、「ぼくたち小学校4年生の時、ここに肥料やったんです」と言って募金してくれました。言葉がすぐに出ないほど感激しました。

鳥帽子山での施肥の前には、会員が小学校にでかけ、「鳥帽子山や千本桜」のお話をします。そしていよいよ、鳥帽子山で保存会員と一緒に肥料を施します。

この中学生の話は3日後の総会で紹介されました。やはり一瞬静かになり、そしてみんなが感動を共有しました。「少なくともここ50年で最高の桜だ」というお話をたくさんお聞きしました。先人が桜を植え、私たちは桜を育て、桜は次の世代を育ててくれているようです。

来年も佳いさくらでありますように。



### ◆研修旅行

20年ぶりの『さくら隠し』の三春滝桜・霞ヶ城公園・全国さくらシンポジウム二本松。

まさに「さくら隠しの滝桜」。しかし、バスの中は満開。



# 資料編



## 「烏帽子山とさくら」

(設立20周年記念誌より再掲)

錦 三郎(日本エッセイストクラブ会員)

鳥帽子山の千本桜が「日本さくら名所100選の地」に選ばれました。1世紀にわたり先人たちが守り育て、毎年美しい花を楽しませてくれる鳥帽子山公園とさくらが広く世に紹介されることは、たいへんうれしいことです。

こんにちの鳥帽子山のさくらは、赤湯北町に鎮座の八幡宮を鳥帽子山にお還し申し上げるために、山一面を公園(偕楽園)として整備したときに数百本のさくらを植えたのが始まりのようです。明治11年(1878年)のことでした。北町の八幡宮境内には、神木として、さくら(法生自面桜ともメヅラザクラともよぶ)の古木があり、「種まきさくら」ともよばれています。このことから鳥帽子山公園を「さくらの公園」にした先人の心も偲ばれそうです。

明治22年(1889年)8月、神域として整備した鳥帽子山に八幡の神を北町からお還し申しあげました。

明治25年(1892年)には、上小松にあった置賜33観音の12番札所若松觀音を譲り受け、東公園(東正寺境内)にお祭り申し上げました。

明治43年(1910年)には、町長酒井弥惣が中心になって、「偕楽園の碑」を公園に設立しました。皆が共に楽しむ公園ということで偕楽園と称したのであったが、水戸には古くから偕楽園があるということで、後には鳥帽子山公園とよぶようになりました。この碑の上部には第11代山形県知事馬淵銳太郎撰文の公園造成の経緯が刻まれています。下部には、公園造成開拓に力を尽くした石岡与市(家昌)ほか15名の和歌が刻まれてあります。

ます。「桜木を植ゑにし人のかたみとも千代に残らん花のかおりは」など、すべてさくらを詠んだ歌です。

昭和11年(1936年)6月には、開園50年を記念し、公園内に歌碑を建立しております。発起人は高橋運作(文進堂)、歌は鈴木源蔵(号、宜春、関根の人)作の「鳥帽子山花見るごとに思ふかな桜植えたるそのかみの人」です。揮毫は結城豊太郎(臨雲)となっております。

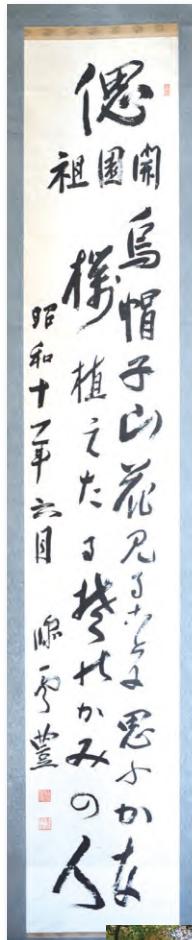
千本近い鳥帽子山公園のサクラは、ソメイヨシノ(自生種のエドヒガンとオオシマザクラの雑種。東京都北区の染井の植木屋から売り出されたといわれる)とエドヒガンが大部分ですが、中にはオオヤマザクラやカスミザクラもまじっています。枝垂(しだれ)ザクラが多いのもこの公園の特長でしょう。日本のサクラは、自生種が七種ほどですが、交配によって多くの品種が生まれ120種を超えるようです。

サクラは、「久保桜」のように数百年の樹齢をもつエドヒガンは特別で、50年もたつと枯れが目立つようになります。

「鳥帽子山千本桜保存会」の力によつて、全山1本1本を記録し、その成長

と管理を充分に行い、見事な花を咲かせ、長く人々を楽しませてほしいと思います。

(初版「鳥帽子山公園パンフレット」より)



写真／高橋 功一

## 偕樂園記・碑文のあらまし

# 記 園 樂 偕

山形縣知事正五位勲三等馬淵銳太郎撰并篆額

縣治之南八里有赤湯邑隸置賜東郡右者以溫泉著浴客歲不下數千百人浴戶連簷絃歌之聲四時不絕生齒年蕃民戶數百繞山趾而居其北岡阜坡陀其南角曰烏帽山山雖不甚高地在平野之間突兀隆起東隔白龍湖與金溪連山對峙南則一望開豁遠與吾妻大嶺相望聚江山之秀子一瞻之下真爲天造之樂園亦山間之名區也物換星移隆至今日殷賑不如昔日居民日瘡矣石岡與市邑之著姓也一旦自以謂我土自古待浴客而舉火欲濟今日之衰運宜多設娛樂燕遊の方日來客則積日之久復旧時之觀不難矣乃先欲興一遊園明治十一年與同志者謀ト地于鳥幅山栽乎花木數百株樹間有燕娛食息之處名曰富山規模雖小可以待客是爲本園造立之濫觴焉爾來規畫之日久矣而四年之間遭回祿之厄者二次民居遊園盡燼全邑爲燼力未遑及之也明治十六年相謀創敬神講意在得資金于此以興功效積久以成志也於是募同志干四方而事與志違物議全湧竭蹶齟語與市等猶執志不倦奔走拮据殆忘寢食者三年蓋移鎮護神八幡祠於山巔栽卉木設泉石燕遊之設略備矣規模亦宏壯美爲一方之偉觀創於明治十九年成於廿六年名曰偕樂而事業頗鉅功未半而資金竭則以私賞繼之更募義金竣功前後八更星霜可謂勞矣此設用夫六万三千用匠七千九百石工稱焉靡費凡三萬六千八百餘圓而強半出于同志者十六人其幹事者石岡與市次之者二人日石岡要藏大山小源治翼贊尤有力者十三人爲丸森與五右衛門結城彌右衛門小林彌五郎澁谷藤吉神保七藏後藤寛石衛門石岡富次郎佐藤久七井上松之助高橋文次郎小川久助須藤孫左衛門新山平学間者邑人貢狀來囑記余深喜其公爾亡私勤勞不倦克達其志乃據狀詮次使者知有創業之難如斯

明治四十三年九月

木 邸 忠 慈 書

## 碑文のあらまし

山形縣知事正五位勲三等馬淵銳太郎撰并篆額

県の治める南八里に赤湯町があり、置賜東部に屬し古くから温泉客で賑わっている。旅館等が軒を連ねいつも絃歌の声が絶えない。民家は数百山際に連なっている。

烏帽子山は、平野の間に突き出て東は白竜湖を経て金溪山をみ南は一望に開け美しい風景が続き遠くに吾妻の大嶺を望むことができ、眞に天の造った楽園名所である。年月を経た今日、當時の繁盛は昔日のことと地域民は日々の生活にも困窮している。

石岡与市は、町の名門の家柄である。公園を整備充実し、昔の賑わいを復旧させ、今日の衰運を救おうとした。明治十一年、同志の者が相計り烏帽子山に数百本の花木を植え樹間に小規模ながら食事や休息所を設け、富山と名づけて来客をもてなしていた。これを公園造りの手始めとした。

以来、計画の日が久しいが四年の間に二度の大火があり、公園も有力者十三名である。

知事の篆額は、地域民と共に深く喜びとし、亡私勤労に努めて成し遂げた志と創業の困難を碑に記さみ次代の者に伝える。

明治四十三年九月  
木邸 忠恕 書

碑左側面に起工者赤湯町長酒井

弥惣、赤湯町議会議員一同、赤湯区

會議員一同。右側面に石工川井源

三郎、建方森長次郎と刻まれている。

碑文の下部に石岡家昌外十二名の短歌が変体かなで書かれており、これも早急に解説したいものである。

寝食を忘れ奔走した、三年を経てようやく衆議が整い從来の地に二町七反歩を加え広園地とした。

新たに鎮護神八幡祠を山巔に移し花木を植え泉石や料亭を備え設けた。規模宏壯で一方の偉觀を創った。明治十九年である。

二十六年偕樂園と命名したが事業は困難を極め工事はいまだ半ば、資金も枯渇した。しかしながら私財を投すると共に義金を募りて竣工した。

前後八年間この労をいかにするか。この役用夫六万三千人、石工七千九百人、總費用三万六千八百余円である。

同志十六人、幹事石岡與市、次

の者石岡要藏、大山小源次、翼贊

有力者十三名である。

## 全国桜名木二代目園リスト

NO	樹名	樹木所在地	植栽年月	付記
1	滝桜	福島県三春町	平成 2年10月	国指定天然記念物
2	馬場桜	福島県大玉村	平成 3年10月	国指定天然記念物
3	根尾谷淡墨桜	岐阜県根尾村	平成 3年10月	国指定天然記念物
4	兼六園菊桜	石川県金沢市	平成 3年10月	
5	弘前公園枝垂桜	青森県弘前市	平成 4年 4月	
6	阿岸小菊桜	石川県門前町	平成 4年10月	
7	石割桜	岩手県盛岡市	平成 7年 4月	国指定天然記念物
8	釜の越桜	山形県白鷹町	平成 7年 4月	県指定天然記念物
9	ポトマックの桜	米国ワシントン	平成 7年 4月	*本誌48ページ参照ください
10	薬師桜	山形県白鷹町	平成 7年 4月	
11	虎の尾桜	福島県会津高田町	平成 8年 4月	
12	杉の糸桜	福島県会津坂下町	平成 8年 4月	
13	久保桜	山形県長井市	平成 9年 4月	国指定天然記念物
14	山高神代桜	山梨県武川村	平成 9年11月	国指定天然記念物
15	滝桜	福島県三春町	平成19年11月	国指定天然記念物
16	久保桜	山形県長井市	平成20年11月	国指定天然記念物
17	薬師桜	山形県白鷹町	平成20年11月	県指定天然記念物

### 「日本のさくら見本園」の造成・植栽 平成6年4月10日植栽(25種50本)、平成7年(5種類10本)

NO	品種名	本数
1	朝露桜	2
2	市原虎の尾	2
3	江戸彼岸	2
4	大寒桜	2
5	大田桜	2
6	大山桜	2
7	寒緋岸(かんひがんざくら)	2
8	菊桜	2
9	祇女(きじょ)	2
10	吉祥桜(きちじょうさくら)	2
11	衣笠(きぬがさ)	2
12	兼六園菊桜	2
13	枝垂桜	2
14	昭和桜	2
15	墨染	2

NO	品種名	本数
16	染井吉野	2
17	高砂(たかさご)	2
18	名島桜	2
19	奈良八重桜	2
20	鶴桜	2
21	帆立	2
22	御車返し	2
23	八重紅大島	2
24	八重紅枝垂	2
25	陽光	2
26	大提灯(平成7年植栽)	2
27	関山(平成7年植栽)	2
28	苔清水(平成7年植栽)	2
29	芝山(平成7年植栽)	2
30	市原虎の尾(平成6・7年植栽)	2

\*設立10周年記念誌及び20周年記念誌より作成、「市原虎の尾」が2年間植栽されて60本である。

# 烏帽子山公園千本桜の楽しみ(四言語表記)

## The Joy of Eboshiyama Park's Thousand Cherry Trees

### 1. One of the top 100 spots for cherry blossom viewing in Japan

Mt. Eboshi's thousand cherry trees began in 1877, when local volunteers built Yunoyama Park Amusement Park and planted several hundred blossoming trees there. From 1886, regional residents created a park. In March 1990, the park was designated as one of the top 100 spots for cherry blossom viewing in Japan. Of these cherry blossoms, around 60% are Somei Yoshino and around 40% are Edo Higan (including Edo Higan weeping cherry blossoms). Colonies with this many Edo Higan trees are not easily found elsewhere.

### 2. The globally rare Edo Higan colony

There are 145 Edo Higan trees here, and 225 including the Edo Higan weeping cherries. For Edo Higan, trees older than 1,000 are known nationwide as venerable cherries, however as these Edo Higan are only around 140 years old, they are still considered young. The future-aces will grow, numbering over 200, enjoying their youth for another thousand years.

### 3. A giant torii gate, Kojubashi Bridge, and other precious architectural remnants of the Meiji Period

The Eboshiyama Hachimangu Shrine Giant Torii Gate (built 1903, the largest stone torii gate in Japan) was made by the famous stonemason Zennosuke Yoshida (known for the Yoshida Bridge built in 1881 in Nakagawa, Nanyo City). In addition, the stone arch bridge known as "glasses bridge" along the way to Omisaka was made by Yoshida's pupil Kyodai Kawai. The Shinto ritual of replacing the shimenawa ropes used to indicate sacred ground takes place on the 18th April every year, amongst the cherry blossoms in full bloom.

### 4. Enjoy the garden of the second generation of famous trees from across the nation

The Eboshiyama Thousand Cherry Trees Preservation Society (est. 1990) has received second generation trees from famous cherry trees from across the country, which have been planted from the north of the park to the western slope. Many have been designated as natural monuments. Why not come to see famous trees from across Japan at Eboshiyama Park?

## “乌帽子山公园千本樱”的乐趣

### 1 “日本樱花名所百选”之地

据明治11年(1877年)地域有志记载, 乌帽子山千本樱最早始于建造“汤之山公园(游园地)”时种植的数百棵花树, 自明治19年开始, 举全区民众之力建造成了现在的公园。该地于平成2年3月被选定为“日本樱花名所百选”之一。其樱花种类中的染井吉野约占6成, 江户彼岸(包含江户彼岸品种中的枝垂樱花在内)约占4成, 如此多的江户彼岸樱花簇生在一起的景象在其他地方是很难看到的。

### 2 世界罕见的“江户彼岸樱花簇生地”

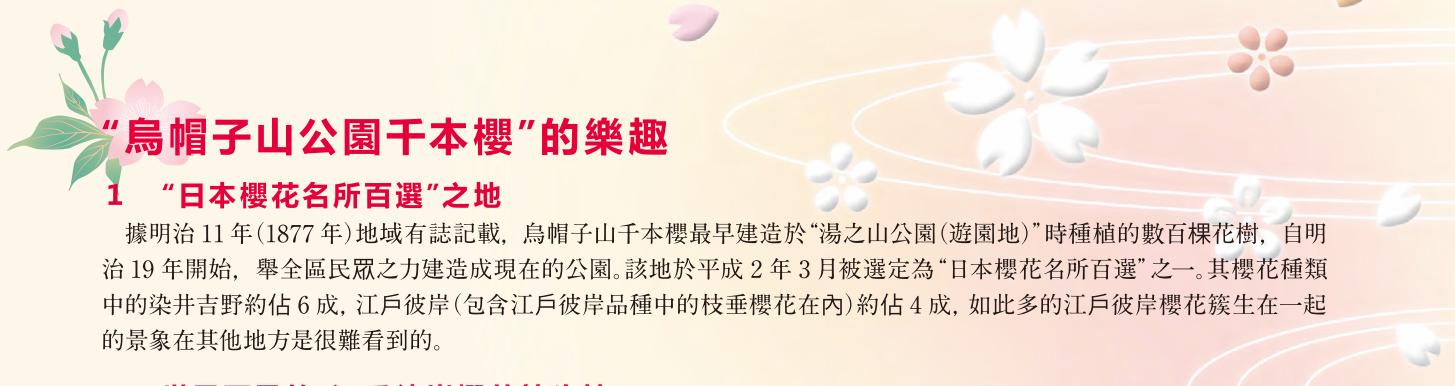
共有江户彼岸樱花树145棵, 江户樱花品种中的枝垂樱80棵, 共计225棵樱花树簇生于此。江户彼岸樱花作为树龄可超1000年的“长寿樱花”全国闻名, 而此处的江户彼岸樱花树的树龄只有140年左右, 还是“少年期”。最难得的是竟有200棵以上的此品种优质樱花树簇生于此, 并可以开至千年以后, 期待它们今后那愈加繁盛的花期。

### 3 “大鸟居”和“康寿桥”等明治时期宝贵的建筑遗产

“乌帽子山八幡宫大鸟居(明治36年, 日本第一的整石制大鸟居)”是由著名石匠吉田善之助(“吉田桥, 明治14年, 南阳市中川等”建造的。在御神坂的途中(康寿樱的旁边)有一座俗称为“眼镜桥”的石拱桥, 是由大鸟居的制造者, 著名石匠吉田的弟子川合兄弟制造的。在每年的4月18日, 樱花盛开的时节, 都会于大鸟居举行更换稻草绳的祭神仪式

### 4 敬请期待“全国樱花名树第二代园”

“乌帽子山千本樱保护协会(平成2年设立)”接受全国各地赠送的各种樱花名树(第二代), 种植在公园由北至西的斜坡上, 其中有很多品种甚至是被评为天然纪念物的樱花品种, 在乌帽子山公园举行一场盛大的“全国樱花名树观赏大会”如何



## “烏帽子山公園千本櫻”的樂趣

### 1 “日本櫻花名所百選”之地

據明治 11 年(1877 年)地域有誌記載，烏帽子山千本櫻最早建造於“湯之山公園(遊園地)”時種植的數百棵花樹，自明治 19 年開始，舉全區民眾之力建造成現在的公園。該地於平成 2 年 3 月被選定為“日本櫻花名所百選”之一。其櫻花種類中的染井吉野約佔 6 成，江戶彼岸(包含江戶彼岸品種中的枝垂櫻花在內)約佔 4 成，如此多的江戶彼岸櫻花簇生在一起的景象在其他地方是很難看到的。

### 2 世界罕見的“江戶彼岸櫻花簇生地”

共有江戶彼岸櫻花樹 145 棵，江戶櫻花品種中的枝垂櫻 80 棵，共計 225 棵櫻花樹簇生於此。江戶彼岸櫻花作為樹齡可超 1000 年的“長壽櫻花”全國聞名，而此處的江戶彼岸櫻花樹的樹齡只有 140 年左右，還是“少年期”。最難得的是竟有 200 棵以上的此品種優質櫻花樹簇生於此，並可以開至千年以後，期待它們今後那愈加繁盛的花期。

### 3 “大鳥居”和“康壽橋”等明治時期貴重的建築遺產

“烏帽子山八幡宮大鳥居(明治 36 年，日本第一的石製大鳥居)”是由著名石匠吉田善之助(“吉田橋，明治 14 年，南陽市中川等”)建造的。在御神坂的途中(康壽櫻的旁邊)有一座俗稱為“眼鏡橋”的石拱橋，是由大鳥居的製造者，著名石匠吉田的弟子川合兄弟製造的。在每年的 4 月 18 日，櫻花盛開的時節，都會於大鳥居舉行更換稻草繩的祭神儀式。

### 4 敬請期待“全國櫻花名樹第二代園”

“烏帽子山千本櫻保護協會(平成 2 年設立)”接受全國各地贈送的各種櫻花名樹(第二代)，種植在公園由北至西的斜坡上，其中有很多品種甚至是被評為天然紀念物的櫻花品種，在烏帽子山公園舉行一場盛大的“全國櫻花名樹觀賞大會”如何？

## 벚꽃의 명소 에보시야마 공원 센본자쿠라

### 1 ‘일본 벚꽃 명소 백선’ 중 하나

에보시야마 센본자쿠라는 1877년 지역 유지가 ‘유노야마 공원(유원지)’을 조성하고 수백그루의 꽃나무를 재배한 것이 시초입니다. 1886년부터 모든 주민이 힘을 합쳐 공원을 만들었습니다. 그리고 1990년 3월에는 ‘일본 벚꽃 명소 백선’으로 지정되었습니다. 벚꽃의 종류는 소메이요시노(왕벚나무)가 약 60%，에도히간 벚꽃(에도히간계 올벚나무 포함)이 약 40%로 이정도 규모의 에도히간 군생지는 좀처럼 보기 힘듭니다

### 2 세계적으로도 보기 드문 ‘에도히간 벚꽃 군생지’

이곳에는 145그루의 에도히간 벚꽃이 있으며 에도히간계 올벚나무 80 그루를 포함하면 225그루나 군생하고 있습니다.

에도히간 벚꽃은 수령 1,000년이 넘는 ‘장수 벚꽃’이 전국적으로 유명하지만 이곳의 에도히간 벚꽃은 140년 정도로 아직 ‘소년기’입니다. 천년 뒤가 기대되는 미래의 에이스인 소년벚나무들이 200그루 이상 군생하고 있습니다.

### 3 ‘오토리이(신사 앞에 세워진 큰 기둥문)’ 및 ‘고주바시 다리’ 등, 옛날 건축의 귀중한 잔존물

‘에보시야마 하친만구 오토리이’(1903년, 일본 제일의 단일석 오토리이)는 이름난 석공 요시다 젠노스케(요시다바시 다리, 1881년, 난요시 나카가와 외)가 만들었습니다. 또한 오미사카 언덕 중간(고주 벚꽃 옆)에는 통칭 ‘안경 다리’라고 불리는 석조 아치 다리가 있는데, 이 다리는 오토리이를 만든 석공 요시다의 제자 가와이 형제가 만들었습니다. 오토리이 금줄 교체 의식은 벚꽃이 만개한 매년 4월 18일에 치러집니다.

### 4 ‘전국 벚꽃 명목(銘木) 2대째 정원’도 방문해 주시기 바랍니다.

‘에보시야마 센본자쿠라 보존회(1990년 설립)’에서는 전국의 명목(초대 벚나무의 2대째자손)을 기증받아 공원의 북쪽부터 서쪽 경사면에 재배하였습니다. 천연기념물로 지정된 벚꽃도 많습니다. 에보시야마 공원에서 ‘전국의 벚꽃 명목’을 감상하시지 않겠습니까?

## 鳥帽子山公園千本桜の楽しみ

### 1.「日本さくら名所百選」の地

鳥帽子山千本桜は、明治11年（1877年）に地域有志が「湯ノ山公園（遊園地）」を造成し数百本の花木を植栽したのが始まりです。明治19年からは地区民あげて公園づくりが行われました。

### 2.世界でも珍しい「エドヒガン群生地」

このエドヒガンは145本あり、エドヒガン系シダレザクラ80本を含めると225本も群生しています。エドヒガンは、樹齢が1,000年を超える「長寿のさくら」が有名ですが、このエドヒガンは140年ぐらいで、まだ「少年期」です。これからエースたちが200本以上群生しており、千年先まで楽しみな少年たちです。

### 3.「康寿橋」「大鳥居」などの明治の建築遺構

「鳥帽子山八幡宮大鳥居（明治36年、一本石大鳥居日本一）」は、名石工吉田善之助（吉田橋、明治14年南陽市中川ほか）によるものです。また、御神坂途中（康寿桜の脇）には通称「メガネ橋」と呼ばれる石造りのアーチ橋があり、大鳥居を造った名石工吉田の弟子の川合兄弟によるものです。大鳥居の注連縄架け替え神事は、満開の桜の中、毎年4月18日に行われます。

### 4.「全国桜銘木二代目園」もお楽しみください

「鳥帽子山千本桜保存会（平成2年設立）」では、全国の名木（二代目）を寄贈いただき、公園の北から西斜面に植栽しました。天然記念物に指定された桜も多く、鳥帽子山公園で「全国さくら名木見物」はいかがでしょうか。

## 巻頭「口絵」の解説

### 1.享保の絵図

#### （南陽市指定有形文化財（古文書））

絵図には、窪田村の上新田（現米沢市）から中山の掛入石（現上山市）までの米沢街道の村落、道路、田畠、川、橋、神社、寺院、番所などが彩色入りで建物まで描かれており、享保3年（1717年）の米沢藩や幕府領の高畠の様子が一目で分かれます。

絵図は15幅に分かれており、一幅ずつ表装されています。13幅目にあたる赤湯村・十分一御番所の絵図には、米沢街道が太い赤線で、赤湯村の市街地とその東に広がる白竜湖と大谷地が、主要道路の所在も含め黒筆で描かれています。東照寺や鳥帽子石、御殿や大湯、丹波湯の浴場も黒筆で書いています。本町、馬町などの地名や道路や川、建物や田畠の様子から、享保2年当時、赤湯の市街地には140軒の戸数があったことが分かります。

（佐藤庄一氏著、平成28年5月1日号「市報なんよう」より抜粋）

赤湯村の「享保の絵図」（280年位前のもの、市教委所蔵）を見ると、東正寺から薬師寺付近の丘陵地に、い

ろいろな樹木に交じって桜の花が描かれ、その桜も相当な年輪を経ているように見受けられる。表町・本町・清水町も現在の道筋のようである。

（山川章初代会長著、鳥帽子山千本桜保存会設立10周年記念誌より抜粋）

### 2.明治23年遷座当時の鳥帽子山八幡宮全景画

#### 「鳥帽子山八幡宮」

御祭神 応神天皇・菅原道真・鳴雷神

例 祭

9月15日（ふるさと祭り9月第2土曜日、日曜日）

御由緒

当神社は今から約九百余年前の寛治7年（1093年）清原武衡が乱を起こし、源義家が当国に下向して鎮定、その弟加茂次郎義綱が赤湯八幡沢に祠を建て、勝運の長久を祈ったのが起源。明治19年現在の鳥帽子山の風光明媚な地を撰び五ヶ年の歳月と延べ6万3千人の人夫と7,900人の石工を動員して完成した神苑に、明治23年社殿を新築遷座、明治35年に県社となり、商売繁盛、交通安全、殊に1代守神、いぬ、る八幡と親しまれ、縁結び、安産、学業成就神として信仰が篤い。

## 鳥帽子山公園の古写真



▲鳥帽子山公園の櫻花（康寿橋附近）



▲赤湯公園



▲赤湯公園



▲鈴蘭燈と夜櫻



▲家波を隔てて公園を望む



◀花見橋

【上段図】「赤湯靈泉誌」

赤湯温泉場温泉組合、大正14年3月発行

【中段図】「新装あかゆ」町勢要覽

赤湯町役場、昭和25年12月発行

【左図】「花見橋」

撮影は昭和30年頃と思われる。

南陽市赤湯 安孫子 実氏 所蔵

## 南陽市のワシントン桜

会員 加藤 正人

アメリカのワシントンで春の風物詩となつてゐる「全米桜祭り」(National Cherry Blossom Festival)が開催されています。ポトマック公園に8,000本近い日本の花とされる桜木が植栽され、70万人以上の人々が桜を愛で楽しんでいたとテレビ等でも報道されます。この桜木は1884年に一人の女性が日本の桜に魅せられ桜の植樹を思いつき、その後ポトマック川沿いを桜並木にしたいと努力した人々によって、1912年に日本から贈られた桜が植えられたといいます。

「鳥帽子山千本桜保存会10周年記念誌」に次のような一文があり、このワシントン桜の2代目が南陽市に植栽されていることがわかりました。

「ワシントンの二代目桜 赤湯中学校に寄贈植栽」という題で、次のように紹介されています。

『米国ワシントン市ポトマック湖畔の桜二代目を日本さくらの会のご配慮で、5年もの七本を購入することができ、そのうち5本を赤湯中学校校庭脇に横山建設(株)の協力をいただき、10月5日(平成6年)、同校の先生と保存会会員とで植栽し、贈呈しました。2本は令和3年二代目園に植栽する予定にしています』

鳥帽子山公園二代目園にそのワシントン桜



が植栽され、表示のプレートも立ってあり20数年の歳月を感じさせる木に成長し来園者を楽しませています。

しかし、赤湯中学校に植栽されたといわれる五本の桜については、記録もその姿も見ることが

できません。

当時の保存会役員はほとんど亡くなりましたので、平成6年当時赤湯中学校の校長であった前千本桜保存会会长柴田正夫氏に尋ねましたが記憶がないと植えた場所等を特定することが出来ず、当時の学校日誌や沿革史等にも記録されていませんでした。

植栽された翌年の平成7年に同校校長に着任した手塚昌男氏は5本の桜を植栽したことは記憶にあるとのこと、さら平成8年に同校教頭であった猪野忠氏は「ワシントン桜」と記されている小さなプレートが吉野川沿いの土手の桜の木のそばに確かにあったが、その後吉野川の水害によってグランドが水浸しとなり、そのプレートは流されてしまったのではないかと猪野氏は語っています。

同校グランドに出向きましたが、どの桜の木がワシントン桜であるかを特定することは困難がありました。グランド東側には樹齢30数年の桜の木が古木に交じて數本植栽されており、これらのどれかが「ワシントン桜」であろうと考えられますが、特定するに至りませんでした。

歴史に名を残すワシントン桜が赤湯中学校に植栽されていることに、かつて同校に勤務し、保存会会員の一人として格別の思いがあります。きっと、毎年咲くこの桜の木が生徒たちの健やかな成長と活躍を見守っているに違いありません。



## 記念誌や会報に寄稿いただきました方々のご芳名

# 会報や記念誌に寄稿いただきました皆様、ありがとうございました。

\*敬称略、順不同で失礼します。( )は掲載時のお立場等です。複数回掲載の場合も同紙一回の紹介とさせていただきました。

### 1.設立10周年記念誌

【編集委員:安部昇一、寺島重之、柿崎教之、浦山孝一郎】

山川章(会長)浅野栄子(会長代行、副会長)、荒井幸昭(南陽市長)、船山仁(置賜さくら会会长代行)、濱田俊明(用地係長)、伊藤二男(初代事務局長)、石岡與市(湯町)、鈴木ひとみ(旭町)、中條晴雄(農政係長)、皆川博(幹事)、須藤伸一(観光協会長)、大沼きよ(花見町)、矢萩清栄(幹事)、須藤タカ子(いきかえりの宿瀧波)、松田貞男(東京都大田区)、渡部美智男(祖柳出身、千葉県在住)

### 2.設立20周年記念誌

【編集委員:柴田正夫、安部昇一、寺島重之、浦山孝一郎、須貝龍男、加藤正人】

柴田正夫(会長)、塩田秀雄(市長)、佐貝全健(県議長)、安崎暁(日本花の会理事長)、山田儀重(伊佐沢久保桜保存会長)、山川章(初代会長(再掲))、錦三郎(日本エッセイストクラブ会員)、松田貞男(東京都大田区(再掲))、浅野栄子(会長代行)、安部昇一、寺島重之、浦山孝一郎(広報部)、酒井綾子(赤湯)、佐藤香(赤湯)、平林敏男(広報部長)、歌丸裕介(門塚)、新山宏三(八幡宮宮司)、須藤恭子(赤湯)、榎本明央(東京都武蔵野市)、安部重子(門塚)、川井洋子(赤湯)、菅野俊彦(事務局)、大沼徳子(赤湯)、加藤正人(事務局長)、鈴木順策(樹木医)、松野均(富山県黒部市)

### 3.会報

●第1号(平成4年3月31日)山川章(会長)、石岡與市(湯町)、鈴木ひとみ(旭町) ●第2号(平成5年9月15日) ●第3号(平成6年9月15日) 浅野栄子(副会長)、皆川博(会員)、須藤伸一(観光協会長) ●第4号(平成7年10月20日) ●第5号(平成8年10月20日) 須藤タカ子(赤湯)、後藤愛子(南陽東ロータリー婦人の会会長) ●第6号(平成9年11月10日) 小野田貞一(南陽さつき愛好会)、松田貞男(東京都大田区) ●第7号(平成9年11月20日) 浅野栄子(会長代行) ●第8号(平成13年3月31日) 柴田正夫(会長) ●第9号(平成14年3月31日)、第10号(平成15年3月31日) 安部昇一(事務局長)、新山宏三(八幡宮宮司) ●第11号(平成16年3月31日) 柴田正夫(会長) ●第12号(平成17年3月31日) 柴田正夫(会長) ●第13号(平成18年3月31日) 柴田正夫(会長)、新山宏三(八幡宮宮司) ●第14号(平成19年3月31日) 柴田正夫(会長)、榎本明央(東京都武蔵野市) ●第15号(平成20年3月31日) 柴田正夫(会長)、丹羽寿春(岐阜県各務原市)、高世重右エ門(長井市「大明神桜保存会長」) ●第16号(平成21年3月31日) 柴田正夫(会長)、横山知佳(糠野目小学校4年)、佐藤為雄(白鷹町釜の越桜保存会長) ●第17号(平成23年3月31日) 柴田正夫(会長)、安彦博(漆山)、戸張伸子(東京都)、土屋源良(赤湯) ●第18号(平成24年3月31日) 柴田正夫(会長)、高橋賢一(金山むらづくり委員長)、佐藤明日香(神奈川県)、寺島重之(副会長) ●第19号(平成25年3月31日) 柴田正夫(会長)、川井洋子(赤湯)、藤田秀雄(新潟市) ●第20号(平成26年3月31日) 柴田正夫(会長)、三森和裕(顧問、樹木医)、石川舞桜(赤湯小学校4年)、三ヶ山悠太(同)、佐藤癪華(同)、嶋貴誠(同) ●第21号(平成27年3月31日) 柴田正夫(会長)、織田洋典(えぐぼの里案内人)、土屋源良(会員)、須貝龍男(会員)、網代京子(赤湯小学校教諭)、樋口蓮巳(赤湯小学校4年)、川井陽翔(同)、長美咲(同) ●第22号(平成28年3月31日) 柴田正夫(会長)、島津祐介(青年会議所情報発信委員長)、鈴木こはね(赤湯小学校4年)、門真りか(同)、鈴木心春(同)、山木咲々(同)、山田春子(フォトグラファー)、大澤実(事務局長) ●第23号(平成29年3月31日) 柴田正夫(会長)、三森和裕(顧問、樹木医)、森林インストラクター)、後藤昌幸(赤湯小学校教諭)、田村裕菜(赤湯小学校4年生)、高橋敬太(同)、鈴木優仁(同)、佐藤あさ子(赤湯) ●第24号(平成30年3月31日) 新山眞弘(会長)、平林敏男(平林造園代表)、安部遼平(赤湯小学校教諭)、伊藤健太郎(赤湯小学校4年生)、中西珠綺(同)、大浦有里彩(同)、大澤実(事務局長)、笠原正博(新潟市)、遠藤ひかる(桜苗木) ●第25号(平成31年3月31日) 新山眞弘(会長)、鈴木和他(観光協会長)、平山純奈(赤湯小学校教諭)、丹野優陽(赤湯小学校4年生)、小関久廉(同)、井上愛梨(同)、大地晴斗(同)、竹田耕平(事務局長) ●第26号(令和2年3月31日) 新山眞弘(会長)、山口修(樹木医)、佐藤ゆう子(赤湯小学校教諭)、新関拓歩(赤湯小学校3年生)、小関心雛(同)、大沼幸愛(同)、熊澤菜乃花(同)、鈴木美和(同)

## 鳥帽子山千本桜保存会歴代役員一覧

期間 平成(令和)年月日	会長	副会長	監事	事務局長	会計	総務部長	事業部長	広報部長
2.4.25 ~4.4.21	山川 章	浅野 栄子	田口 重之 小川 禮二	伊藤 二男	兼 伊藤 二男			
4.4.21 ~6.4.20	山川 章	浅野 栄子	小川 禮二 齋藤 義則	伊藤 二男	兼 伊藤 二男			
6.4.20 ~8.4.25	山川 章	浅野 栄子	小川 禮二 齋藤 義則	柴田 正夫	矢萩 清榮			
8.4.25 ~10.4.24	山川 章	浅野 栄子	小川 禮二 齋藤 義則	柴田 正夫	矢萩 清榮			
10.4.24 ~11.4.22	山川 章	浅野 栄子	小川 禮二 齋藤 義則	柴田 正夫	矢萩 清榮	柴田 正夫	石川 和男	浦山孝一郎
~12.4.23	会長代行	浅野 栄子						
12.4.23 ~14.4.25	柴田 正夫	浅野 栄子	小川 禮二 齋藤 義則	安部 昇一	矢萩 清榮 大沼 きよ	安部 昇一	伊藤 久	浦山孝一郎
14.4.25 ~16.4.18	柴田 正夫	浅野 栄子 矢萩 清榮	石川 和男 齋藤 義則	安部 昇一	大沼 きよ	安部 昇一	伊藤 久	浦山孝一郎
16.4.18 ~18.4.21	柴田 正夫	浅野 栄子 矢萩 清榮	石川 和男 齋藤 義則	安部 昇一	大沼 きよ	安部 昇一	伊藤 久	寺島 重之
18.4.21 ~19.4.17 ~20.4.25	柴田 正夫	浅野 栄子 伊藤 久 安部 昇一	石川 和男 矢萩 清榮	安部 昇一 加藤 正人	兼 安部 昇一 兼 加藤 正人	兼 安部 昇一 兼 加藤 正人	伊藤 久	寺島 重之
20.4.20 ~22.4.22	柴田 正夫	伊藤 久 安部 昇一	石川 和男 矢萩 清榮	加藤 正人	兼 安部 昇一	兼 加藤 正人	伊藤 久	寺島 重之
22.4.22~ ~23.4.25 ~24.4.26	柴田 正夫	伊藤 久 寺島 重之 安部 昇一	石川 和男 高橋 信夫	加藤 正人	兼 安部 昇一 高橋 功一	兼 加藤 正人	伊藤 安彦 博	寺島 重之 平林 敏男
24.4.26 ~25.4.16	柴田 正夫	寺島 重之 歌丸 裕介	石川 和男 高橋 信夫	加藤 正人		兼 加藤 正人	安彦 博	平林 敏男
25.4.16~ ~26.4.26		寺島 重之 神尾 伸一	安部 昇一 新山 宏三	大澤 実	高橋 功一	兼 大澤 実	伊藤 昭男	
26.4.26 ~28.4.23	柴田 正夫	神尾 伸一	安部 昇一 新山 宏三	大澤 実	高橋 功一	兼 大澤 実	伊藤 昭男	平林 敏男
28.4.23 ~29.4.24	柴田 正夫	新山 真弘	土屋 源良	大澤 実	高橋 功一	兼 大澤 実	伊藤 昭男	平林 敏男
~30.4.24	新山 真弘	大澤 実	菅野 俊彦					
30.4.24~ ~31.4.23 ~2.5.22	新山 真弘	大澤 実	土屋 源良 菅野 俊彦 森谷 正孝 丸森 義一	竹田 耕平	高橋 功一	兼 竹田 耕平	伊藤 昭男	平林 敏男

# 鳥帽子山千本桜保存会 会則

## 〈名称・事務局〉

### 第1条

本会は、「鳥帽子山千本桜保存会」と称し、事務局を鳥帽子山八幡宮内(南陽市赤湯1415)に置く。

## 〈目的・事業〉

### 第2条

本会は、鳥帽子山公園の桜の管理保存及び桜のまちづくりに寄与することを基本目的に、必要な事業を行う。

## 〈会員・会費〉

### 第3条

本会は、本会の趣旨に賛同する者を会員とし、会員は本会員と特別会員とする。

2 会員は会費を納入しなければならない。

3 会費の額は、総会において決定する。

## 〈役 員〉

### 第4条

本会に次の役員を置く。

(1) 会 長 1名

(2) 副 会 長 2名

(3) 幹 事 若干名

(4) 事務局長 1名

(5) 会 計 1名

(6) 監 事 2名

2 会長は、本会を代表し、会務を統括する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときは、その職務を代行する。

4 幹事は、事業の企画・立案を行う。

5 事務局長は、会務の事務を統括する。

6 会計は、会計を処理する。

7 監事は、会務及び会計を監査する。

## 〈役員の任期〉

### 第5条

役員の任期は2年とし再任を妨げない。

2 補欠による役員の任期は、前任者の残任期間とする。

## 〈顧 問〉

### 第6条

本会に顧問を置くことができる。

2 顧問は、関係団体及び学識経験者から、会長が委嘱する。

## 〈会 議〉

### 第7条

本会の会議は、総会・臨時総会・専門部会・幹事会とする。

2 総会は年一回これを開催し、次の事項を審議する。

(1) 会則の制定及び改廃

(2) 事業計画及び収支予算

(3) 事業報告及び決算

(4) 役員の選任及び解任

(5) その他、会長が必要と認めた事項。

3 専門部会は、総務部・事業部・広報部とする。部会は部長・副部長・部員で構成し、事業の実施について協議する。会長が必要に応じ召集する。

(1) 総務部は、全体運営の企画調整及び緊急な事項について協議する。

(2) 事業部は、本会事業の実施計画を作成し事業を行う。

(3) 広報部は、会報の発行及び広報に関する事業を行う。

4 幹事会は、会長が召集し、総会に提出する議案及び会長が必要と認めた事項を審議する。

## 〈会 計〉

### 第8条

本会の会計年度は、4月1日より始まり、翌年の3月31日で終る。

2 本会の経費は、次の各号をもって充てる。

(1) 会 費

(2) 寄付金

(3) その他の収入

## 〈補 則〉

### 第9条

この会則に定めるもののほか、本会の運営に必要な事項は、幹事会の議決を経て会長が別に定める。

## 〈付則〉

1 この会則は、平成2年4月25日から施行する。

2 この会則は、平成5年4月20日から施行する。

3 この会則は、平成11年4月22日から施行する。

4 この会則は、平成24年4月25日から施行する。

5 この会則は、平成30年4月24日から施行する。

## 編 集 後 記

◆平成2年に設立された本会は、おかげさまで、令和2年度で設立30周年の大きな節目を迎えることができました。「毎年咲いてくれ」と祈りながら大粒の汗をさくらに浸み込ませた先輩方や、それを力強く支えていただいた多くの方々に、心からの謝意を申し上げます。そして今年10月に、「烏帽子山公園の桜の管理保存及び桜のまちづくりに貢献し顕著な功績をあげた」として市長表彰を授かると伺いました。諸先輩の30周年にわたるご尽力に心からの敬意を申し上げます。

◆明治11年(1878年、142年前)から始まった烏帽子山千本桜の歴史を、本会の歴史と重ねみると、平成25年度から始まった「赤湯小学校児童との施肥協働作業」は、郷土愛を育む教育活動として今後も大切にしていかなければならぬことだと思います。子どもたちが成長したある日(昨年春のさくらの日)、「僕たち小学校4年生の時、ここの桜に肥料をやったんです」と中学生が募金してくれました。昨年の総会で披露されたこのことは、皆を感動させてくれました。

◆本誌では、いつまでも語り継いでいかなければならぬ烏帽子公園千本桜と保存会30年の歴史、そして未来に向かつた現在の取組を、写真を交えながらできるだけ丁寧に綴ろうとしました。さらに、関係機関や市民・小学校の皆様からも玉稿をいただくことができました。ここに記して心から感謝を申し上げます。(49ページに紹介させていただきましたが、誤りがあればお許しください。)

◆これからも、「かみの人」から受け継いだサクラを、「肥料を施したみんな」をはじめ多くの人たちとともに、「街の宝」として磨いてまいりましょう。本誌が、そのエネルギーになっていただければ幸いです。

### 賞状

#### 【編集委員】

新山真弘(会長)、加藤正人(幹事、記念誌助言者)、大澤実(副会長)  
平林敏男(広報部長)、須貝龍男(広報副部長)、高橋功一(会計)、新山佳弘(事務局)鈴木秀範(事務局)、竹田耕平(事務局長)

#### 鳥帽子山千本桜保存会設立20周年記念誌 「えぼし山のさくら」

- 発行日 令和2年9月15日
- 編集・発行 鳥帽子山千本桜保存会 (事務局) 南陽市赤湯1415鳥帽子山八幡宮内
- 印刷・製本 文進堂印刷／山形県南陽市樋塚811-3 [電話]0238-43-2116

